

ケー ジー レポ ー ト

KG REPORT

第121期 株主通信

2014年4月1日から2015年3月31日まで

2015 夏号



FOCUS

兼松の
挑戦。

中期ビジョン「VISION-130」の達成に向けて取り組んでいる主な施策をご紹介します。



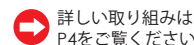
次のステージへ向け 多彩な事業創造は 始まっています。

経常利益が史上最高益を達成

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2015年3月期連結業績は、全般的に好調だった電子・デバイスセグメントや、車両・航空セグメントが牽引する形で、前期比増収となり、経常利益は史上最高益を達成しました。

中期ビジョン達成に向けて



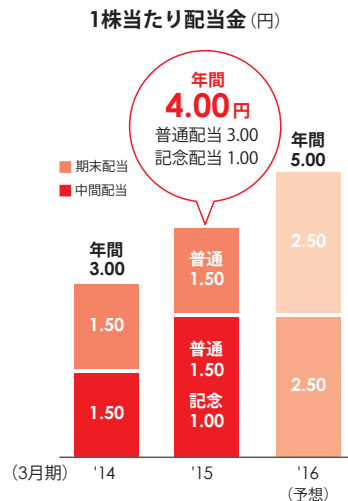
当社グループでは、さらなる成長を実現するために、創業130周年に向けて目指すべき姿を示した5ヵ年の中期ビジョン「VISION-130」を策定し、取り組みを開始しました。「健全な財務体質の維持」とお取引先との共生・発展による「収益基盤の拡大」の両立を経営目標として推進しています。

代表取締役社長

下嶋政幸

株主の皆さまへ

| | 中期経営計画 | | | 中期ビジョン 「VISION-130」 |
|-----------|----------------|----------------|-----------------|------------------------|
| | 2014年3月期 実績 | 2015年3月期 実績 | 2016年3月期 見通し | 2019年3月期 目標 |
| (単位：億円) | | | | |
| 売上高 | 11,145 | 11,171 | 12,000 | — |
| 売上総利益 | 864 | 914 | 950 | — |
| 営業利益 | 198 | 221 | 240 | — |
| 経常利益 | 202 | 229 | 230 | 250~300 |
| 当期純利益 | 118 | 115 | 125 | 150 |
| ネットDER(倍) | 0.9 | 0.8 | 1.0倍台維持 | 1.0倍台維持 |



初年度の当期、「収益基盤の拡大」については、食料分野において、インドネシアのフルーツゼリー製造会社へ出資したほか、現地パートナーと共同で立ち上げた食品加工会社も本格稼働するなど、変化するアジアの食文化に対応した事業展開を進めました。また、車載部品事業においては、グローバルモータリゼーションの動きに合わせ、海外現地製造にも迅速に対応できる部品供給体制を構築しました。さらに、成長著しい監視カメラ事業を営む兼松日産農林株式会社を連結子会社化するなど、グループ再編にも取り組みました。

「健全な財務体質の維持」については、収益基盤拡大のための事業投資などにより総資産が増加しましたが、一方で、利益剰余金の積み上げや円安による為替換算調整勘定の良化などにより自己資本が増加し、当期末の自己

資本比率は19.6%に改善、ネット有利子負債倍率(ネットDER)は0.8倍と1倍を切る水準を維持しています。

継続的かつ安定的に、株主の皆さまへ還元

配当につきましては、企業価値の向上と株主の皆さまへの還元のバランスを考慮し、継続的かつ安定的に行っていきたいと考えています。2015年3月期は、創業125周年の記念配当を含め、年間配当金を1株当たり4円とさせていただきました。2016年3月期については、内部留保が一定程度積み上がったことに加えて、引き続き順調な業績が見込まれることから、年間配当金を1株当たり5円(中間配当2円50銭、期末配当2円50銭)とさせていただく予定です。

株主の皆さまには、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

兼松の 挑戦。

中期ビジョン「VISION-130」のもと、強みを有する主要重点分野のさらなる深化や、新規投資などにチャレンジし、収益基盤の拡大を図っています。



エアバス社A320型機

民間航空機用 循環部品事業を拡大

世界の航空機市場は、運航機数が向こう20年間で約2倍に増加する見通しで、循環部品交換需要は増加傾向にあります。このような環境のもと、アイルランドで航空機用循環部品事業を行う兼松の子会社KGAR※は、エアバス社A320型機向け循環部品の取り扱いを開始しました。A320型機は、ボーイング社B737型機と並ぶ大ベストセラーです。KGARは、B737型機向けを中心に1万品目もの循環部品を英国内倉庫に保有し、24時間365日供給可能なサポート体制を構築しています。このA320型機向けをラインナップに加えることで、多様なニーズにお応えします。



A320型機向け循環部品

※KG Aircraft Rotables

FOCUS

インドネシア2億4,000万人の 食生活を「楽しむ食」へ



◇ 現地フルーツゼリー製造会社に出資

2億4,000万人を超える人口を有する成長著しいインドネシアは、中間消費層の成長が見込まれ、伝統的な食生活も「楽しむ食」へと変化が表れてきています。こうした変化や多様性に対応するため、兼松は株式会社たらみがインドネシアでフルーツゼリーの製造・販売を行う合弁会社に出資しました。この出資により兼松は「当事業の推進と現地パートナーとの折衝」「輸入フルーツ原料の安定供給」

「近隣諸国への製品販売」を担います。また、インドネシアにおける兼松グループのロジスティクス専門会社が完全なサポート体制を敷いており、煩雑な輸出入通関業務の円滑化や物流業務の効率化を図ります。今後、インドネシアで長年培ってきた人脈や食品分野でのノウハウを活かし、日本企業の進出をサポートするとともに、食文化の発展に貢献していきます。



インドネシアで行われた新商品発表会



FOCUS



セキュリティ・ショー 2015に出展(東京ビッグサイト)

兼松日産農林を子会社化 シナジー効果を創出

日本人のセキュリティ意識の高まりとともに拡大を続ける監視カメラ市場。2020年の東京五輪に向けてさらなる市場拡大が見込まれる一方、アナログカメラからIPカメラへとトレンドはシフトし、需要の複雑化・多様化が進んでいます。この需要を取り込むために、兼松は兼松日産農林を子会社化し、事業基盤を強化しました。兼松の電子・デバイス部門とのシナジー効果を創出し、さらなる収益の拡大をめざします。

兼松日産農林株式会社とは？

兼松日産農林は、地盤改良事業、木材加工事業、監視カメラ事業を主要事業として展開しています。特に2006年から開始した監視カメラ事業は、年々売上を伸ばしています。



兼松日産農林が取り扱うサムスン社製映像監視機器

CSRトピックス 兼松の思い

東日本大震災
復興支援活動



寄贈式(陸前高田市・戸羽市長(左)と兼松・長谷川副社長(右))

移動図書館車を 陸前高田市に寄贈しました

兼松は、次世代を担う子どもたちの今と未来に貢献する活動、そして復興支援活動の一環として、岩手県陸前高田市に移動図書館車「やまびこ号」を寄贈しました。「やまびこ号」の車内はLED照明で明るく、一部可動式の書棚には約900冊の図書が並びます。また、夏場や雨天でも利用しやすいように、日よけ・雨よけとして使える可動式のひさしも取り付けられています。今後も兼松は、被災地の皆さまに貢献できるよう、支援活動を続けていきます。



LED照明で明るい車内！

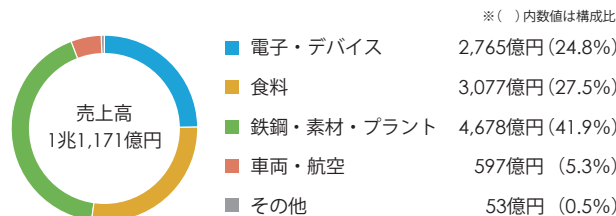
移動図書館車
「やまびこ号」



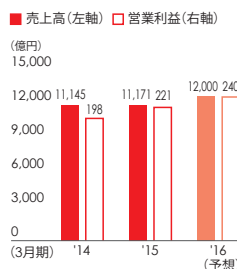
(単位：百万円)

| | 前期 2013年4月 1日－ 2014年3月31日 | 当期 2014年4月 1日－ 2015年3月31日 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 売上高 | 1,114,539 | 1,117,096 |
| Point ① 営業利益 | 19,776 | 22,125 |
| Point ① 経常利益 | 20,160 | 22,895 |
| Point ② 当期純利益 | 11,799 | 11,470 |
| 1株当たり 当期純利益(円) | 28.09 | 27.30 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 22,384 | 10,115 |
| Point ③ 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,111 | △8,903 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △9,351 | △9,895 |
| 現金及び現金同等物 の期末残高 | 73,548 | 67,377 |
| | 前期末 2014年3月31日 | 当期末 2015年3月31日 |
| 総資産 | 428,459 | 459,011 |
| Point ④ 純資産 | 96,204 | 118,731 |
| 1株当たり純資産(円) | 170.54 | 214.10 |
| ネット有利子負債 | 68,038 | 67,646 |
| 自己資本比率(%) | 16.7 | 19.6 |
| ネットDER(倍) | 0.9 | 0.8 |

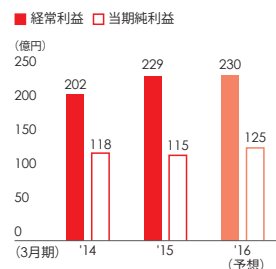
事業別売上高



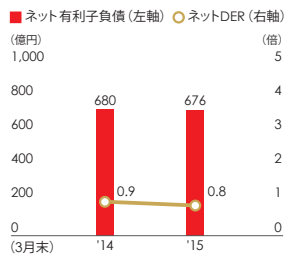
売上高／営業利益



経常利益／当期純利益

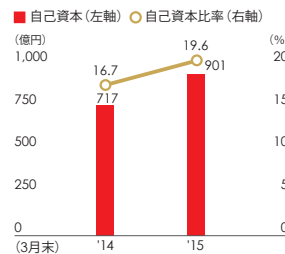


ネット有利子負債／ネットDER



※ネット有利子負債＝有利子負債－現金及び預金
ネットDER＝ネット有利子負債／(純資産－少数株主持分)

自己資本／自己資本比率



※自己資本＝純資産－少数株主持分
自己資本比率＝(純資産－少数株主持分)／総資産

Point

① 営業利益／経常利益

電子・デバイスセグメントと車両・航空セグメントの好調による営業利益の増加に伴い、経常利益は史上最高益を記録しました。

② 当期純利益

経常利益の増加や兼松日産農林の連結子会社化に伴う特別利益計上も、平成27年度税制改正に伴う税金費用の増加により微減しました。

③ 投資活動によるキャッシュ・フロー

兼松日産農林の連結子会社化や日本オフィス・システムの完全子会社化を企図した株式追加取得などにより、支出が増加しました。

④ 純資産

当期純利益による利益剰余金の積み上げや、為替相場の変動による為替換算調整勘定の良化などにより、増加しました。

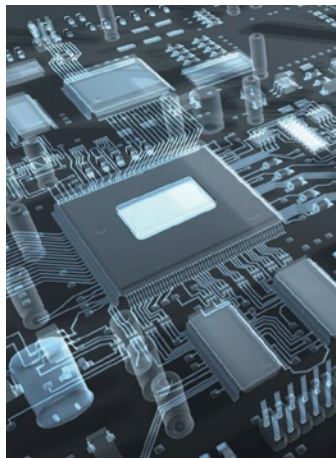
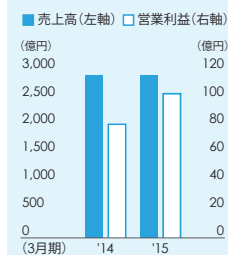
事業別概況



電子・デバイス

売上高 [前期比]
2,765 億円 $\Delta 0.3\%$

営業利益 [前期比]
99 億円 $+27.8\%$



主要事業

- 半導体部品・装置
- 電子機器・電子材料
- ICT・モバイル

主要グループ会社

- 兼松エレクトロニクス
- 兼松コミュニケーションズ
- 日本オフィス・システム
- 兼松日産農林

ICT・モバイルソリューション事業を中心に、 全般的に好調

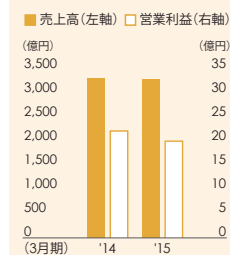
当セグメントは、電子機器・材料、ICT・モバイルソリューション事業などを展開しています。当期は、電子機器・電子材料事業、半導体部品事業は全般的に好調で、中でも車載関連ビジネスは、国内外の需要拡大に伴い伸長しました。ICTソリューション事業は、企業の積極的なインフラ設備投資を受け堅調に推移したほか、モバイル事業も好調でした。また、兼松日産農林を連結子会社化したことにより、同社の監視カメラ事業が収益に貢献しました。



食料

売上高 [前期比]
3,077 億円 $\Delta 0.4\%$

営業利益 [前期比]
19 億円 $\Delta 7.9\%$



主要事業

- 食品
- 畜水産
- 飼料
- 穀物
- 農産油脂

主要グループ会社

- 兼松新東亜食品
- 兼松アグリテック
- 兼松ソイテック
- PT. Kanemory Food Service

畜産事業、食糧事業が順調も、 食品事業が苦戦

当セグメントは、原料の調達から製品加工までの一貫供給体制により、穀物・油脂原料・飼料・畜水産物などを安定確保し、幅広い製品を提供しています。また、惣菜・加工食品事業なども展開しています。当期は、畜産事業は、需要増を背景に堅調に推移しました。食糧事業は、穀物取引、飼料取引ともに順調でした。一方、食品事業は、消費税増税以後の個人消費の落ち込みや円安による輸入仕入価格の上昇などの影響を受け、苦戦しました。

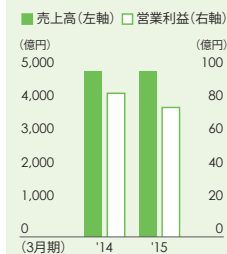
事業別概況



鉄鋼・素材・プラント

売上高 〔前期比〕
4,678 億円 $\Delta 0.2\%$

営業利益 〔前期比〕
73 億円 $\Delta 10.4\%$



主要事業

- 鉄鋼貿易・特殊鋼貿易
- 国内鉄鋼・鉄鋼原料
- 機能性化学品
- ライフサイエンス
- 原油・石油製品・LPG
- プラント・船舶
- 工作機械・産業機械

主要グループ会社

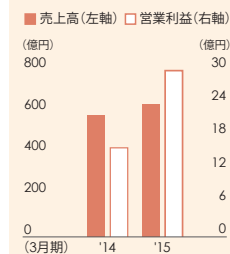
- SSOT
- BPT
- 兼松トレーディング
- 兼松ベトロ
- 兼松ケミカル
- 兼松ケージケー



車両・航空

売上高 〔前期比〕
597 億円 $+9.6\%$

営業利益 〔前期比〕
28 億円 $+84.4\%$



主要事業

- 車両・車載部品
- 航空宇宙

主要グループ会社

- 兼松エアロスペース
- 新東亜交易
- KG Aircraft Rotables

プラントインフラ事業が国内外で好調も、エネルギー事業が苦戦

当セグメントは、鉄鋼製品・石油製品・機能性化学品・産業プラントなどの事業を展開しています。当期は、プラントインフラ事業は、東南アジアにおける風力発電プラントの大口受注案件や国内での工作機械・産業機械取引が好調でした。鉄鋼事業は、欧米向けの自動車用特殊鋼取引が堅調に推移するも、主力の油井管事業では需要の弱さが見受けられました。また、エネルギー事業は、夏場の需要減や原油価格の下落が影響して苦戦しました。

航空宇宙事業、車両・車載部品事業ともに好調

当セグメントは、高い専門知識と豊富な情報量を駆使し、自動車・二輪車および関連部品事業を世界規模で展開しています。また、産業車両や建設機械などの貿易取引や、航空機・航空機部品、衛星・宇宙関連製品ビジネスも行っています。当期は、航空宇宙事業は、航空機部品取引が好調でした。車両・車載部品事業は、二輪・四輪車用部品取引を中心に、一般的に堅調に推移しました。

会社情報

会社概要 (2015年3月31日現在)

| | |
|------|-----------------------|
| 社名 | 兼松株式会社 |
| 英文社名 | KANEMATSU CORPORATION |
| 創業 | 明治22年(1889年)8月15日 |
| 設立 | 大正7年(1918年)3月18日 |
| 本店 | 神戸市中央区伊藤町119番地 |
| 本社 | 東京都港区芝浦1丁目2番1号 |
| 資本金 | 27,781,141,350円 |
| 従業員数 | 813名(国内・海外出向者などを含む) |

役員 (2015年6月24日現在)

| 取締役および監査役 | 執行役員 |
|-----------------|----------------|
| 代表取締役社長 下嶋 政幸 | 社長 下嶋 政幸 |
| 代表取締役副社長 長谷川 理雄 | 副社長執行役員 長谷川 理雄 |
| 取締役 郡司 高志 | 専務執行役員 郡司 高志 |
| 取締役 谷川 薫 | 専務執行役員 谷川 薫 |
| 取締役 作山 信好 | 常務執行役員 戸井田 守弘 |
| 取締役 平井 豊 | 常務執行役員 金子 哲哉 |
| 取締役 片山 誠一 | 常務執行役員 宮部 佳也 |
| 監査役(常勤) 梨本文彦 | 常務執行役員 作山 信好 |
| 監査役(常勤) 小川 荘平 | 常務執行役員 柴田 和男 |
| 監査役 山田 洋之助 | 常務執行役員 稲葉 啓一 |
| 監査役 宮地 主 | 執行役員 菅 栄治 |
| | 執行役員 森田 克己 |
| | 執行役員 濱崎 雅幸 |
| | 執行役員 平澤 裕康 |

- (注) 1. 取締役 平井 豊、片山誠一の両氏は社外取締役であります。
 2. 監査役 小川荘平、山田洋之助、宮地 主の各氏は社外監査役であります。
 3. 平井 豊、片山誠一、山田洋之助、宮地 主の各氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

株式データ

株式の状況 (2015年3月31日現在)

| | |
|-----------------------------|--------------|
| 発行済株式の総数(自己株式1,157,263株を含む) | 422,501,010株 |
| 株主数 | 27,174名 |

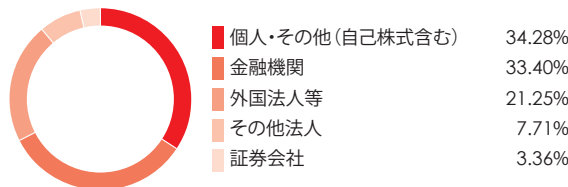
大株主 (2015年3月31日現在)

| 株主名 | 株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 16,770 | 3.98 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 14,256 | 3.38 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 13,298 | 3.15 |
| 農林中央金庫 | 12,460 | 2.95 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 11,613 | 2.75 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 11,612 | 2.75 |
| ハイアット | 5,435 | 1.28 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 5,285 | 1.25 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 4,334 | 1.02 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2) | 4,329 | 1.02 |

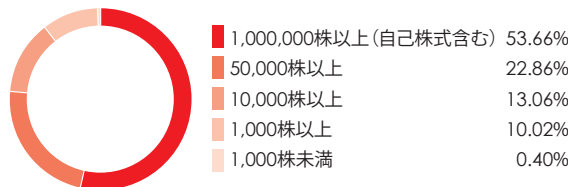
(注) 持株比率は自己株式(1,157,263株)を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2015年3月31日現在)

所有者別



所有株数別



株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 期末配当基準日 | 3月31日 |
| 中間配当基準日 | 9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 (電話照会先) | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。 |
| 公告方法 | 電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告による 公告をすることができない場合は、東京都にお いて発行する日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載のホームページアドレス http://www.kanematsu.co.jp |
| 単元株式数 | 1,000株 |
| 上場証券取引所 | 東京(証券コード:8020) |

【住所変更等諸手続のお申し出先について】

最近、株主さま宛の郵送物が宛先不明で返送されてくるケースが増えて
おります。現在お届けいただいておりますご氏名(法人の場合は商号およ
び代表者名)・ご住所等に変更がありましたら、お手数ですが**株主さまの
口座のある証券会社等**にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さま
は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し
出ください。

